

教科名	Dignity	科目名	Dignity
対象学年	中学1年	コース・選択	——
単位数	1単位	教科書 (出版社)	——
学習目的	人と人との関わりを通して自分を見つめ直す。		
学習の基本項目	①新しい友達や先生との出会いのプログラムを通して、聞く力・話す力を養う。 ②メディアライブラリーを活用し、調べ学習の基礎を身につける。 ③自らの内にある疑問に気づき、調べ学習によって答えを見出し、学校祭や学習発表会でプレゼンテーションをする。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	
	1 学 期	聞く力・話す力	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・公共の場での自分の言動を振り返り、他者との関わりを意識する。 ・マインドマップを用いて、自身を再認識し、自分について他者に説明する力を養う。 ・7W3Hを用いて、会話を持続する力を養う。 ・VTSを通して、自由に意見を交換する楽しさを体験する。
	2 学 期	調べ学習の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアライブラリーの活用方法を習得する。 ・夏休みの自由研究に向け、マインドマップを用いて自らの興味関心や内にある疑問に気づく。 ・グループテーマを選択する。 ・グループテーマに基づいて、個人テーマを決定する。 ・メディアライブラリーの書物を活用し、情報を収集する。 ・レポートの書き方を習得する
	3 学 期	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報をまとめ、グループテーマを決定する。 ・発表内容の構成を考える。 ・プレゼンテーションを作成する。 ・プレゼンテーションをする。
		聞く力・話す力	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ作業をふりかえるプログラムを通して、自分をもう一度見つめ直し、他者との関わりを考える。 ・VTSを通して、コミュニケーション力を高めるとともに、観察力・批判的思考力を身につける。

学習内容 と流れ	学期・ 月等	単 元	
	3 学 期	調べ学習の習得	
学習の 留意点	コミュニケーション力を向上させるとともに、自らの内にある疑問に気づき、自ら解決する方法を身につける。		
評価の 観点	<ul style="list-style-type: none"> ①聞く力・話す力を養い、コミュニケーション力を向上することができたか。 ②メディアライブラリーを活用することができたか。 ③調べ学習方法を習得することができたか。 		

教科名	総合的な学習	科目名	総合的な学習の時間
対象学年	中学2年	コース・選択	————
単位数	1単位	教科書 (出版社)	『中高生によるケータイ・スマホ ハンドブック』4、5月で使用 (金城学院中学校高等学校)
テーマ	<p>[共に生きる] 神とのかかわり、人とのかかわり、自然とのかかわり</p> <p>[学年別テーマ] 情報社会を生きる 情報発信 ～私たちのPRしたいこと～</p>		
学習の ねらい	<p>[学習目的] 生徒自身がテーマを設定して情報収集を行い、プレゼンテーション用ソフトウェアを活用して作品を制作し、発表する。</p> <p>[学習基本項目] ① 論理的思考について学ぶ。 ② 個人テーマを設定し、発表内容の構成を考える。 ② メディアを利用し、情報収集・作品制作を行う。 ③ 恵愛祭(学校祭)・学習発表会で発表する。</p> <p>[補足] [学習目的]を通して、情報活用能力を身に付けるとともに、情報社会における問題点を自ら意識し、より積極的に解決しようとする態度や力を育成する。</p>		
学習 内容 と 流れ	学期・ 月等	単 元	
	1 学 期	I. プレゼンテーション用ソフトウェアによる作品制作(自分と未来)	
		「情報社会」とは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報社会の便利な点、注意すべき点を簡単に説明する。 ・ 論理的な思考に基づいて情報を取捨選択することの大切さと自らが情報発信者となって情報伝達の難しさを知るという学習の目的を説明する。
		プレゼンテーション用ソフトウェア講習および論理的思考と情報伝達手法についての学び	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中高生にとっての携帯電話やスマートフォンの是非」を題材として論理的な思考について学ぶとともに、プレゼンテーション用ソフトウェア(Power Point)でスライドを作成する講習を行う。 ・ 情報伝達手法の完成形の一つとして、ケータイハンドブックを参照する。
		個人テーマの決定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次終わりの総合学習内容を引継ぎ、「将来の夢」について、自分とその職業に纏わる環境(その職業に就くために必要とされる準備、予想される障壁への解決策)、及び、その職業自体に関わる現況(問題、課題等)を、インターネットを利用し調べさせる。
		情報収集と発表内容の構成作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人テーマについて調べ学習をし、発表内容の構成をたてさせる。
プレゼンテーション作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成にしたがい、プレゼンテーションを作成するよう促す。 ・ 机間巡視をし、個々に講習を行う。 		

学習内容の流れ	学期・月等	単 元	
	学習内容の流れ	2 学期	発表原稿の作成
発表会			・学校祭（恵愛祭）で、プレゼンテーションを印刷した作品を展示する方法を考えさせる。 ・授業にて個々の作品の評価をさせる。 ・授業にて優秀作品を発表させ、発表の仕方、発表の聞き方を習得させる。
Ⅱ.プレゼンテーション用ソフトウェアによる作品制作（過去の日本と私たち：修学旅行事前学習）			
戦時の広島に関する資料の視聴			・各資料から、広島を3つの視点でとらえる。 ①軍事都市広島 ②被爆都市ヒロシマ ③復興都市広島
3 学期		個人テーマの決定	・インターネットを利用して、3つのうちいずれかの視点で事実調査を行うと同時に、問い（テーマ）を立てる。 ・「ピースメーカー」として自ら取り組めることを念頭に、問いに対する主張をまとめる。
		情報収集と発表内容の構成	・個人テーマについて調べ学習をし、発表内容の構成をたてさせる。
3 学期		プレゼンテーション作成	・構成にしたがい、プレゼンテーションを制作するよう促す。 ・机間巡視をし、個々に講習を行う。 ・プレゼンテーションを印刷し、修学旅行用の事前学習資料とする。
		作品の全体発表	・年間を通じた優秀作品を全校生徒に発表する。
学習の留意点・評価など	<p>[学習の留意点] 論理的思考に基づいて情報を収集する能力および情報を選択する能力の習得。</p> <p>[評価の観点]</p> <p>① 論理的に物事を考える重要性を意識することができたか。 ② 情報収集・情報活用・発表のための道具として、情報やメディアを利用できるようになったか。 ③ 情報収集・作品制作の際に、著作権について意識することができたか。 ④ 作品制作・発表を行うことにより、自己満足で終わることなく他者へ訴えていく力が身についたか。</p>		
備考	<p>担当者の代表が、3学期初旬の職員会議にて総合学習の概要説明をして、次年度担当者の募集を行う。（状況に応じ、講師の先生にも協力依頼をする。）</p>		

教科名	Dignity	科目名	Dignity
対象学年	中学3年	コース・選択	————
単位数	1単位	教科書 (出版社)	新しい社会科地図(東京書籍)、「ヒロシマの声を聞こう」(「原爆碑・遺跡案内」刊行委員会)取材した独自教材、その他
使用教材	<p>[共に生きる] 神とのかかわり、人とかかわり、自然とかかわり</p> <p>[学年別テーマ] 平和を実現する「そこには人がいる」</p>		
学習のねらい	<p>[学習目的]</p> <p>① 平和を創り出すのも壊すのも、そこには人が関わっていることを学ぶ。 ② 平和を実現する人となるために、できることは何かを考える。</p> <p>[学習基本項目]</p> <p>① 修学旅行を通して平和を考える。 ② 平和新聞をつくる。 ③ 夏休みなどを利用して、フィールドに出て調査・取材する。 ④ 平和を実現している人について調べ、その人の生き方を学ぶ。卒業レポートにまとめる。 ⑤ 恵愛祭(学校祭)・学習発表会で発表する。</p>		
学習内容 と流れ	学期・ 月等	単元	
	1 学期	4月～5月 戦争から学ぶ 「悲しむ人々は幸いである。その人たちは慰められる。(マタイ5:4)」	
		修学旅行 平和新聞づくり 「わたしの聞いた戦争、見た広島」	戦争の現実を知り、悲しむ人々がいることに会う。 身近な人、地域の戦争体験を取材して、戦争を自分のものとしてとらえる。
	2 学期	7月～9月 平和を考える 「憐れみ深い人々は、幸いである。その人たちは憐れみを受ける。(マタイ5:7)」	
		恵愛祭	平和について、テーマを決めて訴える。 修学旅行や夏休みの取材を活かす。
	3 学期	11月～3月 平和を創る人になりたい 「平和を実現する人は幸いである。この人たちは神の子と呼ばれる。(マタイ5:9)」	
生き方を学ぶ 卒業レポート 「平和に生きる人々～生きる・生きる～」		いろいろな生き方を知る。 わたしはどんな生き方をしたいのか、高校進学を前にみつめさせる。	
学習の 留意点・ 評価など	<p>[学習の留意点] 興味をもって自ら意欲的に取り組むことができるように、教材には万全の配慮を行う。単に机上の学習で終わることがないように、フィールドワークを紹介し、取材をさせる。評価は学年末に文章で行う。</p> <p>[評価の観点]</p> <p>① 学習内容への意欲・関心・態度 ………学習した内容に関心を持ち、授業に意欲的に取り組むことができたか。</p> <p>② 学習内容に対しての考察力・分析力 ………深く考え、自ら問題を見つけ、適正な分析をすることができたか。</p> <p>③ レポート・発表・表現力 ………調査・取材に裏打ちされた内容を展開して、自ら考えることができたか。 期日を守っていいに作成することができたか。 十分な準備をして、内容をしっかり理解して発表することができたか。 発表表現に工夫することができたか。</p>		
備考	担当者の代表が、3学期初旬の職員会議にて総合学習の概要説明をして、次年度担当者の募集を行う。クラス担任を優先する。(状況に応じ、講師の先生にも協力依頼をする。)		

教科名	Dignity 「生き方を探る～社会に参画し主体的に生きるために～」								
対象学年	高校1年	コース・選択	_____						
単位数	1単位	教科書 (出版社)	_____						
使用教材	岩波ブックレット、ワークシート各種								
学習のねらい	言語技術を高めるための基礎的訓練やテキスト批評を通して、問いに根拠を添えて答える力、要約する力や批判的に思考する力を養う。								
特に習得されるべきスキル	<ul style="list-style-type: none"> ・著者の主張と根拠を読み取り、要約する力 ・わかりやすく理由や根拠を添えながら筋道を立てて意見を述べる力 ・文献資料を批判的に読む力 ・なぜ、どうしてと問う力 ・討論する力 								
学習内容と流れ	学期・月等	単元	学習内容	知識理解	主な活用力				価値態度
				知識理解	分析力	表説明力・	討論力	思批判力的	読解力
	4月	オリエンテーション	一年間の授業の予定、Dignityの目的、ルールを理解する。 「なぜ、テキスト批評をするのか」を理解する。	○					
		パラグラフライティング	絵画を使って読み取った情報を表現する練習をする。 絵画を分析して、「この絵に描かれている人物は何をしていますか」という問いに答える。 答える際には、パラグラフライティングで表現する。	○	○	○			
		パラグラフライティング	基本的な文型（トピックセンテンス＋サポートセンテンス）を学び、文章を書く練習をする。	○		○			
	5月	科学論文の構造	科学論文は、問い・問いへの答え（結論）・理由から成り立つことを、練習問題を通して理解する。 論理の構造を図で表現する。	○	○				○
		要約	論理構造図をもとにして要約文を書く練習をする。		○				○
テキストの読み方		研究グループを作る。 書名、目次、はじめにから著者の問いや主張などの本の内容を推測する練習をする。	○					○	

学期・月等	単元	学習内容	知識理解	主な活用力					価値態度
			知識理解	分析力	表説明力・	討論力	思批判力的	読解力	尊重者の
6月	グループ研究	司書教諭から、図書館の利用法を学ぶ。 岩波ブックレットから研究したい書籍を選ぶ。	○						○
	情報の記録法	情報記録シートの作り方を学ぶ。	○						
	情報の伝達と構造図の作成法	一冊のブックレットを10のパーツに分け、1人1パーツを分担する。各自は分担した箇所を読み取り構造図に表し、他者に伝える。		○	○			○	
7月	夏休みの課題説明	新聞記事ワークシートの書き方を学ぶ。新聞記事は、グループで選択したブックレットのトピックに関連するものを収集する。	○						
8月	テキスト下読み	岩波ブックレットを通読し、著者の主張を読み取る。 新聞記事を収集し、ワークシートに記入する。					○	○	
9月	テキスト批評オリエンテーション	テキスト批評は、要約と批評から成り立つことや、要約では、著者の問い、主張、根拠を報告することを理解する。	○						
	テキスト批評の手法	金城学院大学の先生から批評の手法を学ぶ。	○						
10月	要約	情報カードに、著者が示す主張に対する根拠を記録し、コメントを書き添える。		○	○		○	○	
	要約	情報カードに、著者が示す主張に対する根拠を記録し、コメントを書き添える。		○	○		○	○	
	要約	グループで、ピラミッドストラクチャー図を書き、その上で要約をする。		○	○	○	○		○
11月	批評	賛成、反対の両面から批評のポイントをグループで決める。				○	○		○
	批評	賛成、反対の根拠をグループで考える。				○	○		○
	批評	賛成、反対の根拠をグループで考える。				○	○		○
	批評	批評を書く。(グループ活動)				○	○		○

学習内容の流れ

	学期・月等	単 元	学習内容	知識理解	主な活用力					価値態度	
				知識理解	分析力	表説明力・	討論力	思批判力的	読解力	尊重者の	
学習内容と流れ	12月	批評	批評を書く。(グループ活動)				○	○		○	
		研究発表	スライドの構成を理解する。 パワーポイントでスライドの準備をする。 発表原稿を書く。			○	○			○	
	1月	研究発表	パワーポイントでスライドの準備をする。 発表原稿を書く。			○	○			○	
	2月	研究発表	研究発表クラス予選						○		○
		研究発表	1年2年合同 Dignity 研究発表会								○
		リフレクション	一年の活動を振り返り、自己評価をする。						○		
学習の留意点・評価など	<p>教科学習で習得した知識を活かして、テキスト批評に取り組むように導く。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。</p>										

教科名	Dignity 「生き方を探る～社会に参画し主体的に生きるために～」								
対象学年	高校2年	コース・選択	_____						
単位数	1単位	教科書 (出版社)	_____						
使用教材	ワークシート各種								
学習のねらい	1年生で習得したスキルを活用し、グループ研究を行なう。研究を通して、研究法を学ぶとともに、問いを見いだす力や論理力・分析力・批判的思考力を養う。								
特に習得されるべきスキル	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力 ・問いを設定する力 ・わかりやすく理由や根拠を添えながら筋道を立てて意見を述べる力 ・批判的に資料を読み、判断する力 ・討論する力 								
学習内容と流れ	学期・月等	単元	学習内容	知識理解	主な活用力				価値態度
				知識理解	分析力	表説明力・ 討 論 力	思 批 考 判 的	読 解 力	尊 他 者 の
	4月	オリエンテーション	一年間の授業の予定、Dignityの目的、ルールを理解する。						
		研究の手順	研究の手順を学ぶ。	○					
	5月	情報の記録法 分析法	情報カードの作り方を学ぶ。 コーディングの手法を学び、練習する。	○	○				
		リサーチ クエスチョン の立て方	問いの表の作り方と問いの8つのタイプを学ぶ。 リサーチクエスチョンになる問いとならない問いがあることを学ぶ。	○					
		リサーチ クエスチョン の立て方	教科書からリサーチクエスチョンを立てる方法を学ぶ。	○					
	6月	リサーチクエス ション演習	習得したスキルを使って、グループで話し合っ てリサーチクエスションを立てる。				○	○	○
		リサーチクエ スション演習	設定したリサーチクエスションが適切である かどうかを評価する。 仮説とリサーチの方法を具体的に考える。				○	○	○
		リサーチクエ スション演習	ポスターセッションを行う。仮説、リサーチ の方法を報告し、質疑応答を行う。			○	○		○
		グループ編成	研究グループをつくり、グループの研究テ ーマを決める。	○			○	○	

学期・月等	単元	学習内容	知識理解	主な活用力					価値態度
			知識理解	分析力	表説明力・	討論力	思批判力的	読解力	尊重者の
7月	文献リストの作成	文献資料の探し方を学ぶ。 夏休みに読む文献を探す。	○						
	基礎リサーチ	リサーチクエスチョンへの候補に関する資料を各自収集し、情報カードに記録する。			○			○	
8月	基礎リサーチ	リサーチクエスチョンの候補に関連する資料を各自収集し、情報カードに整理する。 夏休みの研究のまとめとして、リサーチ報告書を書く。			○			○	
9月	リサーチクエスチョンの設定	リサーチクエスチョンを設定する。問いと仮説と検証方法の整合性を検討し、より絞り込んだリサーチクエスチョンを設定する。				○	○		○
	発展リサーチ	研究計画を立て、リサーチをする。 収集した資料を情報カードに記録する。					○	○	
10月	発展リサーチ	リサーチをする。 収集した資料を情報カードに記録する。					○	○	
	資料分析	収集した資料を分析する。		○		○	○		○
11月	資料分析	収集した資料を分析する。		○		○	○		○
	研究成果のまとめ	分析結果をまとめ、プレゼンテーションの準備をする。			○	○			○
12月	研究発表	研究発表：クラス予選			○		○		○
1月	小論文	小論文オリエンテーション 完成までの日程、小論文の構造についておさえる。	○						
	小論文	希望の学部や学科の内容を調べ、それぞれの学問分野のキーワードを知る。	○					○	
	小論文	各学問分野のキーワードの意味を調べ、情報カードに記録する。	○					○	
2月	小論文	研究領域を決め、基本文献を探す。 収集した情報をカードに記録する。	○					○	
	研究発表	1年2年合同 Dignity 研究発表会							○
	小論文 リフレクション	問いと仮説を設定する。 一年の活動を振り返り、自己評価をする。					○		
学習の留意点・評価など	教科学習で習得した知識を活かして、研究に取り組むように導く。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。								

教科名	Dignity 「生き方を探る～社会に参画し主体的に生きるために～」									
対象学年	高校3年	コース・選択	_____							
単位数	1単位	教科書 (出版社)	_____							
使用教材	ワークシート各種									
学習のねらい	1年生と2年生のグループ活動で習得した研究スキルを活用し、個々に研究に取り組む。研究を通して、問いを見いだす力や論理力・分析力・批判的思考力を養う。									
特に習得されるべきスキル	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力 ・問いを設定する力 ・わかりやすく理由や根拠を添えながら筋道を立てて意見を述べる力 ・批判的に資料を読み、判断する力 ・討論する力 									
学習内容と流れ	4月	オリエンテーションとリサーチクエスチョンの検討	1年間の授業の予定を説明する。 小論文の書式や下書き、本稿の提出期限等を確認する。 自分の立てたリサーチクエスチョンの妥当性を検討する。	知識理解	問う力	分析力	表説明力・	思批判的	読解力	価値態度 尊重者の
		小論文の構成 仮説の設定	小論文の構成を確認する。 仮説を立て、リサーチクエスチョンに答えるために収集すべき情報のリストをつくる。研究の方法を書く。 データを集め、情報カードに記録する。	知識理解	問う力	分析力	表説明力・	思批判的	読解力	価値態度 尊重者の
		接続詞の 使い方	論文でよく使われる5種類の接続詞（逆説・並列・例示・言い換え・まとめ）の使い方を確認する。	知識理解	問う力	分析力	表説明力・	思批判的	読解力	価値態度 尊重者の
	5月	パラグラフ・ ライティング	パラグラフ・ライティングを練習する。	知識理解	問う力	分析力	表説明力・	思批判的	読解力	価値態度 尊重者の
		引用の方法	引用文の書き方を学ぶ。自分で作った情報カードを使って引用文の書き方を練習する。 データを集め、情報カードに記録する。	知識理解	問う力	分析力	表説明力・	思批判的	読解力	価値態度 尊重者の
		志望理由書	希望する学部学科の志望理由書を書き、大学で何を学びたいのか、その理由は何かを明確にする。これによって主体的な進路選択につなげる。	知識理解	問う力	分析力	表説明力・	思批判的	読解力	価値態度 尊重者の

	学期・月等	単元	学習内容	知識理解	主な活用力					価値態度
				知識理解	問う力	分析力	表説明力・	思批判力的	読解力	尊重者の
学習内容と流れ	6月	下書き	小論文の下書きを書く。			○	○	○		
		下書き	小論文の下書きを書く。			○	○	○		
	7月	下書き	小論文の下書きを書く。 題名や目次・序論を整える。			○	○	○		
	8月	本稿	本稿を書きあげる。			○	○	○		
学習の留意点・評価など	<p>教科学習で習得した知識を活かして、研究に取り組むように導く。テーマの設定に際しては、希望する学部や学科との関連性を考慮して決めるよう示唆する。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。</p> <p>2学期以降は 内部推薦で進学する生徒は、大学での授業に参加する。 受験をする生徒は、受験対策用の希望講座別授業を受ける。</p>									